あ 足白の奥
にたたずむ
馬見神社

い 一夜城
秀吉智略で
九州平定

う 漆生用水
田畑潤う

え 絵を愛し
嘉麻を愛した
織田廣喜

お 沖出古墳
古墳時代の
王の墓

か 嘉穂アルプス
ツゲ ヤブツバキ
自然がいっぱい

き　貴重な木
白馬山の
バクチノキ

く　黒田武士
益富城主の
母里太兵衛

け　稽古して
伝統受け継ぐ
相撲体操

こ　国鉄の時
代はにぎやか
駅がいっぱい

さ　さわやかな
梅の香薫る
梅林公園

し　正人どん
大きな鍬で
溝をひと掘り

えき

す すきな物（もの）
たくさん見（み）つ
かる道の駅（みちえき）

ぜ 善照寺（ぜんしょうじ）
益富城の（ますとみじょう）
大手門（おおてもん）

そ そばにいて
癒（いや）されるキャラ
かましししちゃん

た 炭鉱（たんこう）の
歴史（れきし）を語（かた）る
練習坑道（れんしゅうこうどう）

ち 地域（ちいき）で
受（う）け継（つ）ぐ
弥栄神楽座（いやさかかぐらざ）

つ つながる
秋月（あきづき）
八丁（はっちょう）トンネル

て 手作りの
焼き物みごと
高取八山

と 弔いで
建てた 尊氏
安国寺

な 長政と
不仲で出奔
後藤又兵衛

に 日本で
三か所しかない
鮭神社

ぬ 濡れ衣と
恨みつのらす
お菊の古井戸

ね 年々
鮮やか
市の木は 桜

の のんびり
花見（はなみ）
稲築公園（いなつきこうえん）

ひ 広（ひろ）がる
おう穴（けつ）
千手川（せんずがわ）

へ 平和（へいわ）を
学（まな）ぶ
祈念館（きねんかん）

は 長谷山（はせやま）の
頂上（ちょうじょう）さわやか
春（はる）の風（かぜ）

ふ 古（ふる）くて
貴重（きちょう）な
青（あお）い目人形（めにんぎょう）

ほ ほたる飛（と）ぶ
自然（しぜん）を守（まも）る
山田川（やまだがわ）

ま　万葉(まんよう)の
暮(く)らしを偲(しの)ぶ
憶良(おくら)の碑(ひ)

み　みごとな
景色(けしき)　小野谷(おのだに)
あじさいロード

む　無念(むねん)の死(し)
心(こころ)に刻(きざ)み
慰霊碑磨(いれいひみが)く

め　名酒(めいしゅ)が
たくさん
嘉穂(かほ)の酒(さけ)

も　森(もり)の木琴(もっきん)
ＣＭ　金賞(きんしょう)

ら　乱暴(らんぼう)な
カッパ縛(しば)られ
大(おお)クス　残(のこ)る

り りんごの
楽園（らくえん）
りんご村（むら）

れ 歴史（れきし）ある
伝統（でんとう）受け継（つ）ぐ
地域（ちいき）の獅子舞（ししまい）

や 山野（やまの）の楽（がく）
秋分（しゅうぶん）の日（ひ）の
県指定（けんしてい）

る 瑠璃色（るりいろ）に
輝（かがや）く 秀吉（ひでよし）
陣羽織（じんばおり）

ろ 老若男女（ろうにゃくなんにょ）
つつじに
親（した）しむ

ゆ ゆかりは
古（ふる）く
五百羅漢（ごひゃくらかん）

よ　よく学(まな)び
嘉麻市(かまし)が好(す)きな
元気(げんき)な子(こ)

わ　湧(わ)き出(で)る
源流(げんりゅう)
遠賀川(おんがが)わ